

2006 年度

科目名  国文学演習IV	対象学科・学年 研究科国語(前)1 回生 研究科国語(後)1 回生	担当者  高橋 圭一
授業テーマ 浮世草子の注釈。		
授業の概要と目標 『好色五人女』を輪講します。十数種類の注釈書に目を通し、そこで用いられている文献・工具書類に出来るだけ直接当たった上で従来の注釈の是非を検討し、さらに、より適切な文献を探しだす努力をして、新しい注釈を付けます。注釈とは別に「五人女」について書かれた論文を全員で読んで、合評する機会も設けたいと考えています。		
評価方法 主に輪講の発表の出来具合（準備に要した手間隙を加味した上での）で評価しますが、出席も重視します。		
テキスト どの出版社のでもよいですから、『好色五人女』の活字本を用意しておいてください。	著者	出版社
参考書 随時紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1、全く知らないという人のために、井原西鶴と『好色五人女』の概説。（不要なら行いません） 2、校訂の説明。 3、注釈という行為について。全員にある研究者の文章を読んでもらいます。 4、輪講開始。 文庫本で一頁位を目安に担当して貰う予定です。今年は巻二「情を入れし樽屋物語」を読もうと思っています。注釈は突っ込んでやりだすときりが無いのですが、できれば、一年間で巻二を終えるのを目標とします。		